

教育研究業績書

2023年5月1日

氏名 小泉 雅典

| 研究分野 | 研究内容のキーワード | |
|------------------------------------|----------------------|---|
| がん集学的治療 救急疾患 甲状腺疾患 肝胆膵の手術 | 臨床に必要な研究 | |
| 教育上の能力に関する事項 | | |
| 事項 | 年月日 | 概要 |
| 1 教育方法の実践例 | 1988年12月～ 1989年3月 | 東北大学医学部文部教官 助手 医学部学生に講義と臨床指導 |
| 2 作成した教科書, 教材 | | 移植外科の実際 「肝移植における保存及び血流再開通後の類洞内視細胞の超微形態」の研究 開腹の皮膚切開（皮切）について：臨床研修プラクティス5（5）：106, 2008 |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価 | | 不明 |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項 | | なし |
| 5 その他 多数あり2007年度のみ記載 | | 2007年度の共同臨床研究 施設代表者 小泉雅典 1. (財)がん集学的治療研究財団 JFMC33-0502 班長 小平進 プロトコル提案者 貞廣荘太郎 理事長 佐治重富 「Stage II B/III大腸癌に対する術後補助化学療法としてのUFT/LV経口療法の治療スケジュールに関する第III相比較臨床試験」 2. (財)がん集学的治療研究団 JFMC-35-C1 (ACTS-RC) 研究代表者 前原喜彦 理事長 佐治重富 「術後補助化学療法におけるフッ化ピリミジン系薬剤の有用性に関する比較臨床試験」 (治療切除直腸癌に対するUFT療法とTS-1との比較検討) 当科の4例登録は、全国第8位 (237施設中) 3. 茨城県膵癌研究会IOPG 研究代表者 筑波大学消化器外科教授 大河内信弘 事務局 小田竜也 「切除可能膵癌に対する非拡大手術+Gemcitabine単剤による術後補助化学療法の有効性・安全性の検討」-茨城県多施設共同第II相臨床研究- 「居所進行膵癌に対する少量Gemcitabine放射線同時併用療法+Gemcitabine単剤による全身化学療法の有効性・安全性の検討」-茨城県多施設共同第II相臨床研究- 救命救急センター関係 政策医療共同研究 1. 研究代表者 独立行政法人国立病院機構医大阪医療センター救命救急センター 定光大海 「テロや有事を含む災害時の医療展開における国立病院 |

| | | |
|--|--|---|
| | | <p>機構の役割に関する研究]</p> <p>2. 研究代表者 独立行政法人国立病院機構災害医療センター ター臨床研究部 原口義座 「国立病院機構内におけるテロ災害（NBC災害を含む）に対する協力体制の研究一多面的な対応体制の確立」</p> <p>3. 研究代表者 独立行政法人国立病院機構熊本医療センター救命救急センター 高橋毅 「循環補助装置[経皮の心肺補助装置（PCPS）]を使用した蘇生法による院外心肺停止患者の心拍再開率、長期予後、社会復帰率の大規模研究」</p> <p>4. 研究代表者 独立法人国立病院機構熊本医療センター救命救急センター 高橋毅 「バゾプレシンを併用した蘇生法による院外心肺停止患者の心拍再開率、長期予後、社会復帰率の大規模研究」</p> |
|--|--|---|

職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項

| 事項 | 年月日 | 概 要 |
|-----------------------|---|--|
| 1 資格, 免許 | 1979年6月2日 1983年11月25日 | 医師免許取得 麻酔標榜医 |
| 2 特許等 | | なし |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項 | 2004年～2014年 2001年～2014年 2001年～2021年 | 水戸地区救急医療協議会代表検証医師 JCO事故対応健康管理委員 茨城県救急医学会編集企画委員 |
| 4 その他 | 2002年～2014年 2004年～2010年 | 茨城県消防学校で学生、消防職員への授業と研修 茨城県警察、消防職員にNBCテロ対策授業 |

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項

| 著書, 学術論文等の名称 | 単著, 共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概 要 |
|--|----------|-----------|----------------------|-----|
| (自著) | | | | |
| 1. M. Koizumi, N. Ohkouchi, H. Katho, N. Koyamada, T. Yamamoto, et al. Preservation and Reflow damage in Liver Transplantation in the Pig. Transplantation Proceeding 1988 Feb; 21(1): 1323-1326 | | | | |
| 2. 小泉雅典・大河内信弘. 佐々木崇・加藤博孝・小山田尚ら: 肝保存における類洞内皮細胞の超微形態、移植 25(1): 30-38, 1989 | | | | |
| 3. 小泉雅典・花松正寛・近衛晃賢・後藤邦彦: 原発性甲状腺平滑筋肉腫の1例: 内分泌外科14(2), 141-143, 1997-6 | | | | |
| 4. 小泉雅典・花松正寛・近衛晃賢: 甲状腺癌術後における頸部乳糜漏の4例: 日本臨床外科学会雑誌58(6), 1210-1213, 1997 | | | | |
| 5. 小泉雅典・國府田博之・田枝督教・小栗裕・寺島徹・小泉健雄・西連寺愛弘・植木浜一: 重症腹膜炎症例に対するステンレス・ワイヤーを使用した腹壁1層縫合による閉腹法、手術54(5), 685-688, 2000 | | | | |
| 6. 小泉雅典・寺島徹・田枝督教・阿部立也・加藤丈人・植木浜一: 腹腔鏡下胆のう摘出時の胆道損傷に対して総汗管空腸吻合が非適応例におけるHepp-Couinaud手術の経験: 手術62(11), 1609-1612, 2008 | | | | |
| 7. 小泉雅典: 開腹の皮膚切開(皮切)について: 臨床研修プラクティス5(5); 106-2008 | | | | |
| 8. 小泉雅典: 腹部領域の外科治療を要した労災事例について～開腹手術例とIVR症例～茨城県労災保険指定医療医協会誌; 2-4, 2011 | | | | |
| 9. 小泉雅典: 「救急医療の連携-地域間格差をどうなくすか-」茨城県救急医学会雑誌第32号, 13-31, 2008 | | | | |
| 10. 小泉雅典: 「水戸医療センター新病院への移転と搬送」水戸市医師会報156: 60-62; 2005 | | | | |
| (共著) | | | | |
| 1. N. Ohkohchi, T. Sasaki, K. Namiki, H. Katoh, M. Koizumi, Y. Taguchi, H. Fujimoto, E. Endo, M. Kasai: Liver Transplantation in Dogs after 30 Minutes of Warm Ischemia. Tohoku J. exp. Med. 1986; 148: 285-294 | | | | |
| 2. N. Ohkohchi, T. Sasaki, K. Namiki, H. Katoh, M. Koizumi, M. Sakurada, Y. Taguchi, S. Mori, H. Fujimoto, E. Endo: Coagulability and Fibrolytic Changes during Venovenous Bypass in Liver Transplantation. Tohoku J. exp. Med. 1987; 152: 375-380 | | | | |
| 3. M. Sakurada, N. Ohkohchi, H. Katoh, M. Koizumi, K. Fujimori, S. Satomii, T. Sasaki, Y. Taguchi, S. Mori: Mitochondrial respiratory function, adenine nucleotide and antioxidant enzymes in pig liver transplantation. Transplant. Proc. 1989; 21: 1321-1322 | | | | |

4. N. Ohkhochi, M. Sakurada, M. Koyamada, H. Katoh, M. Koizumi, et al :The Importance of Prevention of Sinusoidal Endothelial Cell Injury during Cold Preservation of Liver Graft: Tohoku J. Exp. Med. ,1994, 174, 317-331
5. N. Koyamada, N. Ohkochi, M. Koizumi, H. Katoh, M. Sakurada, et al :
Presevation of Ishemic Sinusoidal Linig Cell Injury During Liver Transplantation in Pigs Using an Artificial Heart and Lung. Transplantation Proceeding, 1991 Feb;23(1) :721-725
6. N. Ohkhochi, M. Sakurada, N. Koyamada, H. Katoh, M. Koizumi, N. Koyamada, T. Orii, S. Satomi, Y. Taguchi, S. Mori : Role of free radicals and energy synthesis of primary non function in liver transplantation : Transplant. Proc. 1991 23; 2416-2419
7. N. Ohkhochi, M. Sakurada, N. Koyamada, H. Katoh, M. Koizumi, T. Hirano, T. Orii, T. Terashima, K. Satoh, S. Satomi, Y. Taguchi, S. Mori :The importance of prevention endothelial cell injury during preservation of liver graft. : Tohoku J. exp Med. 1994 174; 317-331
8. H. Ohtani, H. Ishida, Y. Itoh, T. Yamaguchi, M. Koizumi :Autoimmune pancreatitis and biliary intraepithelial neoplasia of the common bile duct:A case with diagnostically challenging but pathogenetically significant association; Pathology International 2011;61:481-485
9. R. Nakamura, Y. Inage, R. Tobita, K. Mori, M. Koizumi, et al :
Epidermal Growth Factor Receptor Mutations. : Effect on Vollume Doubring Time of Non-Small-Cell Lung Cancer Patients:Jounal of Thoracic Oncology, 2014 9(9) :1340-1344
10. R. Miyamoto, M. Koizumi, T. Terashima, R. Abe, K. Katsura, T. Katoh, H. Ohtani :
Chronic diverticulitis of the large intestine characterized by stenosis in Japan: report of 6 cases: Clin J Gastroenterol , 2012 5, 47-52
11. Y. Tsustsumi, A. Tsutiya, K. Ishigami, T. Terashima, M. Koizumi :
A Growing mass on the Shoulder: The Journal of Emergency Medicine, 2012 43, 193-195
12. R. Nakamura , Y. Inage, A. Tsutiya, T. Katoh, K. Yuzawa, M. Koizumi : Bronchial Artery Aneurysm Treated with Video-assisted Thoracoscopic Surgery:Annuls of Vasuclar Surgery2014;28:1321. e1-1321. e3
13. S. Yoneyama, T. Katoh, T. Yumoto, M. Ohwada, T. Terashima, M. Koizumi, H. Ueki : A case of Internal Obstruction Caused by Prominent Kyphosis Resulting in Compression of the Intestine by the Costal Arch: Int Surg 2013;98:254-258
14. A. Tsutiya, M. Koizumi, H. Ohtani : World Health Organization Classification(2004) -Based Re-Evaluation of 95 Nonfunctioning “Malignant” Pancreatic Endocrine Tumors Reported in Japan. Surg Today;2009 39:500-509
15. N. Onoda, K. Sugino, T. Higashihara, M. Kammori, K. Toda, K. Itoh, A. Yosida, M. koizumi, et al : The Safty and Efficiency of Weekly Pacritaxel Administration for Anaplastic Thyroid Cancer Patients: A nationwide Prospective Study. Thyroid;2016 26:1293-1299

(共著・和文)

1. 安藤正・大河内信弘・加藤博孝・小泉雅典・桜田正寿・小山田尚・里見進・佐々木崇・田口善雄・森昌造・矢島義明 : プタ肝移植における血中エンドトキシン野変動 : エンドトキシン研究会誌;285-291,1989
2. 安藤正・大河内信弘・加藤博孝・小泉雅典・桜田正寿・小山田尚・里見進・佐々木崇・田口善雄・森昌造・矢島義明 : プタ肝移植における血中エンドトキシン野変動 : 日本消化器外科学会雑誌,22(11);2629-2633,1989
3. 大河内信弘・加藤博孝・小泉雅典・桜田正寿・小山田尚ら : 肝移植におけるグラフトの組織障害発生機序の解明とその予防法;今日の移植5.6 ; 559-565,1992
4. 高橋広喜・小泉雅典・石井洋・中島和幸・小山純 : Leser-Trelat兆候を呈した早期大腸がんの1例.日臨外科誌,55(12);3132-3135,1994
5. 高橋広喜・石井洋・今野文博・鈴木博・小泉雅典・笹野公伸 : 膝原発平滑筋肉腫の1例.消化器外科18;1867-1872,1995
6. 近衛晃賢・花松正寛・小泉雅典・三原章男 : 外科的内分泌疾患の経験.共済医報45;12-21,1996
7. 白田昌弘・小泉雅典・國府田博之・中原千尋・植木浜一・柴崎信吾 : 過食後の急性胃拡張により胃壊死をきたした1例.日本消化器外科学会雑誌31,12;2346-2349,1998
8. 島崎淳也・小泉雅典 : Tox shock syndromeの1例.日救急医学会誌 ; 24,2003
9. 島崎淳也・小泉雅典 : 大腸穿孔を来した激症型アメーバ性腸炎の一例. 日救急医学会誌. 25;128-129, 2004
10. 土谷飛鳥・小泉雅典 : 徳発令食道破裂の4例-外科的治療と保存的治療-. 日救急医学会誌27;44-45, 2006
11. 関宏・小泉雅典 : Stab woundによる外腸骨動脈不全断裂の1例.日救急医学会誌;27;76-77,2006
12. 吉井宏・家接健一・土谷飛鳥・野村亮介・栗栖茂・中島久幸・小泉雅典・篠塚洋太郎・荒木恒敏 : 膝損傷の現状 ; 第20回日本外傷学会より. 日外傷会誌21;29-39, 2007
13. 高橋毅・原田正公・上之原広司・小泉雅典・内山裕之ら : 国立病院機構の救命センターにおける院外心肺停止患者への経皮敵心肺補助装置 (PCPS) 使用例の調査. 医療63 (7) ; 431-435, 2009
14. 大原祐介・小泉雅典・寺島徹・阿部立也・綱木学・植松智海 : 門脈及び脾静脈血栓を合併した突発性脾膿瘍の1例. 手術62(8) ;1119-1122, 2008
15. 植松智海・小泉雅典・寺島徹・阿部立也・綱木学・大原祐介・植木浜一 : 慢性アルコール中毒を著名な肝昨日以上を呈したアセトアミノフェン中毒の1例.日本救急医学会誌29;92-93,2008
16. 宮本良一・小泉雅典・寺島徹・小崎浩一・湯沢賢治・山口高史・大谷明夫・植木浜一 : 長期の無病生存を認めた膝原発扁平上皮癌の1例. 日本消化器外科学会雑誌43(5) ;542-545, 2010
17. 宮本良一・桂一憲・阿部立也・寺島徹・小泉雅典・山口高史・植木浜一 : TAE後に生じたガス産生破裂性肝膿瘍の1例. 日本腹部救急医学会誌3(5) ;703-705, 2010
18. 石上耕司・堤悠介・土谷飛鳥・小泉雅典・杉田京一 : 転倒時. 肛門から篠(笹) が刺入し直腸損傷した1例. 日救急医学会誌32;49-49, 2011
19. 湯本哲也・若井聡智・定光大海・加藤丈人・寺島徹・小泉雅典・植木浜一 : 可能性股関節炎・骨髄炎を合併した大腸穿孔による後腹膜膿瘍の2例 : 日本救急医学会雑誌24(12) ;1000-1006, 2012
20. 小山田尚・小泉雅典・寺島徹・小林仁存・植木浜一・大家明夫 : 肝内門脈肝静脈短絡症を伴った肝細胞がん再発の1例. 日臨外会誌75(7) ;1983-1988, 2014

21. 村田希吉・大友康裕・山崎繁・小泉雅典・滝口典聡ら：特集Acute Care Surgeryをいかに整備するか？Acute Care Surgeonは救命救急センターと外科専門医指定施設のローテーションで育成する. 日本腹部救急医学会雑誌34(5);969-974, 2014
22. 宮本良一・小泉雅典・阿部立也・桂一憲・寺島徹・植木浜一：比較的長時間経過後に結構再建と腸管切除を施行した上腸間膜塞栓症の1例. 手術64(2);283-286, 2010
23. 宮崎貴寛・湯沢賢治・米山智・小崎浩一・小泉雅典・植木浜一：腹腔鏡下直腸高位前方切除・胆のう摘出術を施行したMorquio症候群の1例. 日臨外会誌7(5);1093-1098, 2015
24. 岩崎健一・小泉雅典・湯阿波健司・寺島徹・植木浜一・大谷明夫：腹膜播種を伴った虫垂杯細胞カルチノイドの3例. 外科78(5)560-563, 2016
25. 岡田晃穂・小泉雅典・稲毛芳永・中村亮太・飛田理香・大谷明夫・植木浜一：99TcMIBIシンチグラフィ陽性の胸腺腫を合併した副甲状腺腺腫の1例. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌33(1);55-59, 2016
26. 小林仁存・湯沢賢治・米山智・岡田晃穂・植木浜一・小泉雅典：内痔核に対するPPH後に生じた傍直腸嚢胞の1例. 日臨外会誌78(1);98-104, 2017

(紀要等)
なし

(学会発表)

【消化器外科領域】

- 1) 第51回日本消化器外科学会総会・東京（1998年2月19日～20日）
「晩期放射線傷害による膀胱下部消化管瘻の治療経験」
小泉雅典、田枝督教、平野拓司、國府田博之、西連寺愛弘、植木浜一、柴崎信悟
- 2) 第52回日本消化器外科学会総会・東京（1998年7月17日～18日）
「Laparoscopic Coagulating Shears(以下LCS)を使用した肝嚢胞3症例の治療経験」
小泉雅典、中原千尋、佐藤智行、白石千子、白田昌弘、井上貴昭、國府田博之、植木浜一
- 3) 第53回日本消化器外科学会総会・京都（1999年2月18日～19日）
「腹腔鏡下胆嚢摘出術(以下Pal C)時の胆道損傷発生機転と対策」
小泉雅典、國府田博之、田枝督教、小栗裕、西連寺愛弘、柴崎信悟、植木浜一
- 4) 第54回日本消化器外科学会総会・名古屋（1999年7月15日～16日）
「重症腹膜炎症例に対するステンレス・ワイヤーを使用した腹壁一層縫合による閉腹法」小泉雅典、國府田博之、田枝督教、小栗裕、柴崎信悟、植木浜一
- 5) 第55回日本消化器外科学会総会・宮崎（2000年7月20日～22日）
「口腔底部に続発したdescending necrotizing mediastisの4例」
小泉雅典、國府田博之、小栗裕・内山裕之、田枝督教、寺島徹、植木浜一
- 6) 第56回日本消化器外科学会総会・秋田（2001年7月25日～27日）
「遅発性放射線傷害にて腹部手術を要した10例の検討」
小泉雅典、國府田博之、小栗裕、田枝督教、寺島徹、大橋祐介、川口義樹、植木浜一、有賀久哲、中野雅行
- 7) 日本肝胆膵外科関連会議・仙台（第13回日本肝胆膵外科学会2001年6月21日～23日）「胆管空腸Roux-en-Y吻合手術後の狭窄に対するHepp-Couinaud法の経験」
小泉雅典、小栗裕、大橋祐介、田枝督教、寺島徹、國府田博之、西連寺愛弘、植木浜一
- 8) 真菌症フォーラム 第3回学術集会・東京（2002年2月16日）
「深在性真菌感染症治療中にβ-Dグルカン高値にて経過している1例」
小泉雅典、小栗裕、加茂潤 林原紀明、西連寺愛弘、國府田博之、植木浜一
- 9) 第57回日本消化器外科学会・京都（2002年7月28日～30日）
「高度に汚染した大腸癌の穿孔性腹膜炎に対するステンレス・ワイヤーによる閉腹法」
小泉雅典、小栗裕、川口義樹、大橋祐介、田枝督教、寺島徹、國府田博之、植木浜一
- 10) 第58回日本消化器外科学会総会・東京（2002年7月28日～30日）
「膵頭十二指腸切除を施行した膵浸潤悪性リンパ腫の1例」
小泉雅典、小栗裕、川口義樹、大橋祐介、田枝督教、寺島徹、國府田博之、植木浜一
- 11) 第40回日本腹部救急医学会・東京（2004年3月18日～19日）
「ショック下手術、腸管壊死、溶血性貧血と経過した多発刺創の1例」
小泉雅典、小栗裕、太田裕貴、國府田博之、植木浜一
- 12) 第59回日本消化器外科学会総会・鹿児島（2004年7月21日～23日）
「慢性膵炎に合併した仮性動脈瘤破裂2例の手術とIVRの治療経験」
小泉雅典、大橋祐介、小川則彦、高野恵輔、田枝督教、國府田博之、西連寺愛弘、植木浜一
- 13) 第60回日本消化器外科学会総会・東京（2005年7月20日～22日）
「温存すべき腸管や臓器組織と癒着剥離が困難な手術時の安全で容易な腸管剥離の手術手技」
小泉雅典、藤島史喜、小栗裕、大橋祐介、田枝督教、有我直宏、寺島徹、國府田博之、植木浜一

- 14) 第 66 回日本臨床外科学会総会・東京（2005 年 11 月 9 日～11 日）
「白血球減少症を合併したバセドウ病治療中の肝細胞癌患者に甲状腺切除後 TAEC を施行した 1 例」
小泉雅典、田枝督教、田枝督教、国府田博之、植木浜一、大谷明夫

(共同演者)

- 1) 日本肝胆膵外科関連会議・名古屋（第 12 回日本肝胆膵外科学会 2000 年 5 月 18 日～19 日）
「汎発性腹膜炎として発症したアメーバ性肝膿瘍の 1 例」
松本恭明、高橋悟朗、増田信也、岩根尊、小栗裕、小泉雅典、植木浜一
- 2) 第 55 回日本消化器外科学会総会・宮崎（2000 年 7 月 20 日～22 日）
「保存的治療、外科的治療をそれぞれ選択した特発性食道破裂の 2 例」
国府田博之、田枝督教、小栗裕、小泉健雄、寺島徹、西連寺愛弘、小泉雅典、植木浜一
- 3) 第 55 回日本消化器外科学会総会・宮崎（2000 年 7 月 20 日～22 日）
「左下肢血行再建を必要とした腸閉塞合併直腸癌に 1 例」
川口義樹、小泉雅典、国府田博之、小栗裕、田枝督教、小泉健雄、植木浜一
- 4) 第 23 回肝癌症例検討会・東京（2000 年 5 月 26 日）
「嚢胞内腫瘍を呈した稀な形態の肝細胞癌の 1 例」
菅原卓、中野雅行、小泉雅典、小栗裕、武田都央、加茂潤、植木浜一
- 5) 第 56 回日本消化器外科学会総会・秋田（2001 年 7 月 25 日～27 日）
「胆管内に迷入したクリップを核として再発した総胆管結石症の 1 例」
川口義樹、小泉雅典、植木浜一、国府田博之、小栗裕、田枝督教
- 6) 日本肝胆膵外科関連会議・仙台（第 13 回日本肝胆膵外科学会 2001 年 6 月 21 日～23 日）
「巨大膵内分泌腫瘍の 1 例」
武田郁央、小泉雅典、植木浜一、小栗裕、田枝督教、寺島徹、大橋祐介、国府田博之、西連寺愛弘、中野雅行
- 7) 日本肝胆膵外科関連会議・仙台（第 13 回日本肝胆膵外科学会 2001 年 6 月 21 日～23 日）
「うっ血性心不全の経過観察中に腹腔内大量出血にて死亡した肝血管肉腫の 1 例」
奥田和功、内田直樹、小泉雅典、植木浜一、中野雅行
- 8) 第 782 回外科集談会・大宮（2001 年 9 月 1 日）
「魚骨穿孔にて腸間膜蜂窩織炎を呈した胃癌切除後の 1 例」
川口義樹、小泉雅典、小栗裕、瓶子隆弘、植木浜一
- 9) 第 57 回日本消化器外科学会・京都（2022 年 7 月 28 日～30 日）
「当院もおける慢性膵炎手術症例の検討」
川口義樹、小泉雅典、小栗裕、植木浜一、国府田博之、西連寺愛弘
- 10) 第 786 回外科集談会・東京（2002 年 9 月 14 日）
「造影 CT にて早期判断し、開腹下血栓除去により腸切除回避できた上腸間膜動脈血栓症の 1 例」
大橋祐介、田枝督教、島崎淳也、太田裕貴、加茂潤、林原紀明、岩根尊、小泉雅典、植木浜一
- 11) 第 64 回日本臨床外科学会・東京（2002 年 11 月 13 日～15 日）
「シゾフィラン投与にて β -D グルカン異常高値をきたした 1 例」
林原紀明、小泉雅典、小栗裕、植木浜一
- 12) 第 58 回日本消化器外科学会・東京（2003 年 7 月 16 日～18 日）
「早期癌類似の外観を呈した進行直腸癌に両側卵巣転移を伴った 1 例」
藤島史喜、小泉雅典、小栗裕、加茂潤、関宏、大出靖将、植木浜一、吉永浩介、村木章、大谷明夫
- 13) 第 65 回日本臨床外科学会総会・福岡（2003 年 11 月 13 日～15 日）
「苛性ソーダによる腐食性食道炎、食道狭窄、幽門狭窄に対して二期的手術を施行した 1 例」
石黒信吾、小栗裕、小泉雅典、大橋祐介、岩根尊、藤島史喜、大出靖将、林原紀明、日下部学、植木浜一
- 14) 第 58 回日本消化器外科学会・東京（2003 年 7 月 16 日～18 日）
「早期癌類似の外観を呈した進行直腸癌に両側卵巣転移を伴った 1 例」
藤島史喜、小泉雅典、小栗裕、加茂潤、関宏、大出靖将、植木浜一、吉永浩介、村木章、大谷明夫
- 15) 第 65 回日本臨床外科学会総会・福岡（2003 年 11 月 13 日～15 日）
「苛性ソーダによる腐食性食道炎、食道狭窄、幽門狭窄に対して二期的手術を施行した 1 例」
石黒信吾、小栗裕、小泉雅典、大橋祐介、岩根尊、藤島史喜、大出靖将、林原紀明、日下部学、植木浜一
- 16) 第 54 回日本救急医学会関東地方会・東京（2004 年 3 月 6 日）
「アメーバ性大腸潰瘍穿孔の 1 例」
島崎淳也、林原紀明、大橋祐介、田枝督教、小泉雅典、植木浜一
- 17) 第 40 回日本腹部救急医学会・東京（2004 年 3 月 18 日～19 日）
「人工血管十二指腸瘻を形成し、治療に難渋した腹部大動脈グラフト感染の 1 例」
太田裕貴、国府田博之、寺島徹、加茂潤、間中研子、小泉雅典、植木浜一
- 18) ステロイド治療中の大腸穿孔術後に呼吸循環不全を呈し CHDF が奏功した 1 例」
中川淳一郎、小泉雅典、福島紋子、高野恵輔、奥田和功、大橋祐介、小川則彦、内山裕之、国府田博之、大谷明夫、植木浜一

- 19) 第 41 回腹部救急医学会・名古屋（2005 年 3 月 10 日～11 日）
「軽度の炎症にもかかわらず胆のう穿孔から胆汗性腹膜炎を来した 1 例」
中川淳一郎、小川則彦、小曾根浩一、太田裕貴、大橋祐介、国府田博之、小泉雅典、植木浜一、大谷明夫
- 20) 第 41 回日本腹部救急医学会・名古屋（2005 年 3 月 10 日～11 日）
「急性胆嚢炎にて発見された胆嚢癌の 1 手術例」
太田裕貴、中川淳一郎、小泉雅典、植木浜一、大谷明夫
- 21) 第 149 回東北外科集談会・仙台（2005 年 6 月 11 日）
「腫瘍内出血を来した S 字状結腸原発の小細胞癌の 1 例」
綱木学、斎田司、岡村佳世子、中川淳一郎、太田裕貴、有賀直宏、田枝督教、小泉雅典、植木浜一、大谷明夫
- 22) 第 797 回外外科集談会・東京千代田区（2005 年 12 月 17 日）
「腺癌と鑑別が困難であった膵尾部腫瘍の 1 例」
高野恵輔、小泉雅典、大橋祐介、植木浜一、大谷明夫、斎田幸久
- 23) 第 799 回外科集談会・東京都千代田区（2005 年 12 月 17 日）
「成人仙尾部奇形腫の 1 例」
岡村佳世子、小泉雅典、高野恵輔、大橋祐介、寺島徹、植木浜一、大谷明夫

【甲状腺外科領域】

- 1) 第 32 回甲状腺外科研究会・名古屋（1999 年 10 月 28 日～29 日）
「疼痛を伴い発症した Plemmer 病の 1 例」
高橋悟朗、和田有司、佐藤智行、田枝督教、小栗裕、国府田博之、小泉雅、植木浜一
- 2) 第 35 回甲状腺外科研究会・浜松（2002 年 11 月 21 日～22 日）
「malignant change と考えられる進行乳頭癌の 1 例（濾胞腺腫 2 度切除後に同所より発生したと思われる乳頭癌の 1 例）」
林原紀明、小泉雅典、小栗裕、藤原英記、加茂潤、植木浜一、土井幹雄

【救急医療】

- 1) 第 53 回日本救急医学会関東地方会・千葉（2003 年 2 月 8 日）
「Toxic shock syndrome の 1 例」
島崎淳也、田枝督教、岩根尊、大橋祐介、小泉雅典、植木浜一
- 2) 第 7 回日本臨床救急医学会 パシフィコ横浜（2004 年 5 月 14 日）
シンポジウム 救急医療の教育体制
「水戸医療センターでの救命救急士教育に関する 3 つの取り組み」
奥田和功、中川淳一郎、島崎淳也、加茂潤、赤野和浩、水江麻紀子、内山裕之、岡本宗司、国府田博之、小泉雅典
- 3) 第 26 回日本中毒学会 広島プリンスホテル（2004 年 7 月 9 日）
「嘔気、嘔吐で消化器内科に入院となったバラコート中毒の 1 例」
奥田和功、寺島陽子、吉川雄一郎、山口高史、国府田博之、小泉雅典